



株式会社浜田組

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2022 年4月1日～ 2023 年3月31日)



認証番号0012131

発行日: 2023年5月31日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	P. 1
環境経営方針	P. 1
組織の概要	P. 2
事業・製品の紹介	P. 2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	P. 3
主な環境負荷の実績	P. 3
環境経営目標及びその実績	P. 4
環境経営計画の取組結果とその評価	P. 4～5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	P. 5
代表者による全体の評価と見直し・指示	P. 6
これまでの環境活動の紹介	P. 6

□ごあいさつ

私たち株式会社浜田組では、「都市のクオリティを創る」を企業スローガンに掲げ、これまでに数多くの環境創造の実績を積み重ねてまいりました。そして、この度エコアクション21を活用し、地球環境にやさしい企業としての取り組みを開始することに致しました。

この取り組みを全従業員に周知徹底し、一丸となって地域環境や社会資本の向上発展に貢献して参ります。

環境経営方針

<環境経営理念>

本業である建設工事業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に行動し、そして、継続的に改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 建築施工時の廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、リサイクル率の向上に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した工事に努めます。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
7. 一般廃棄物の削減に努めます。
8. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

制定日：2017年8月1日

改定日：2022年4月1日

代表取締役 **濱田心平**

□組織の概要

1) 名称及び代表者名

株式会社浜田組
代表取締役 濱田 心平

2) 所在地

本社・倉庫・寮 兵庫県伊丹市大鹿7丁目65番地

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務部部长 中西 正則 TEL：072-779-9666
担当者 総務部 柳澤 伊斗子 TEL：072-779-9666

4) 事業内容

総合建設業及び不動産業

5) 事業の規模

売上高 11.1 億 円 (2022年度)

	本社・倉庫・寮	合計
従業員 名	19 名	19 名
延べ床面積 m ²	1314.89 m ²	1314.89 m ²

6) 事業年度

4 月 1 日 ～ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社浜田組
対象事業所： 本社・倉庫・寮

対象外： なし
活動： 総合建設業及び不動産業

□事業や製品(商品)の紹介

青山第四砂防堰堤工事



青山第四砂防堰堤工事



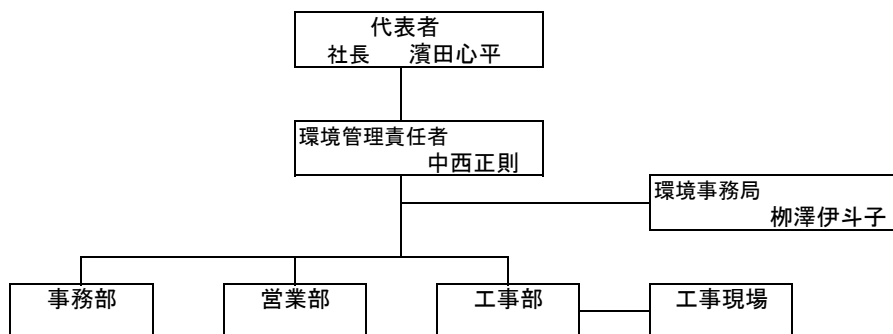
伊丹市立サンシティホール大規模改修工



市営玉田団地エレベーター設置工事

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年5月31日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	51,031	55,275	46,933
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,020	1,266	1,075
産業廃棄物排出量	トン	2430	524	512
総排水量	m ³	534	175	669

※二酸化炭素排出係数 0.496 kg-CO₂/kWh 関西電力の2015年度調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準年	2022年		評価	2023年	2024年
		(実績)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減 (事務所)	kg-CO2	32,777	18,027	16,855	○	18,027	18,027
	基準年度比	2017年	55%	51%		55%	55%
電力による二酸化炭素削減 (工事現場)	kg-CO2	7,917	7,758	15,347	×	7,758	7,758
	基準年度比	2017年	98%	194%		98%	98%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO2	747	22	4	○	22	22
	基準年度比	2017年	3%	1%		3%	3%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	17,218	16,874	14,727	○	16,874	16,874
	基準年度比	2017年	98%	86%		98%	98%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	58,658	42,681	46,933	×	42,681	42,681
一般廃棄物の削減	kg	1,177	1,165	1,075	○	1,153	1,153
	基準年度比	2017年	99%	91%		98%	98%
混合廃棄物の削減	t	180	176	111	○	176	176
	基準年度比	2017年	98%	62%		98%	98%
水道水の削減(本社)	m ³	325	244	235	○	244	244
	基準年度比	2017年	75%	72%		75%	75%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

(注) 灯油を工事現場事務所の暖房用として使用していますが、使用量が少なく削減が困難なため、目標設定しておりません。
 なお、化学物質の購入実績はありません。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減(事務所)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	大幅に削減率を下げたが、通年での目標が達成できた。来期も同じ削減率を達成したい。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・待機時間短縮	○	

電力による二酸化炭素削減(工事現場)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	現場数が増加すると、全く達成できない。目標設定を再考する必要がある。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・		
・		

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	本社給湯器の電気使用への転換等により使用量がほぼゼロのため、来期より数値目標設定をはずして施策のみとする。
・温水温度の適正化	○	
・蒸気・温水配管の保温修理	○	
・本社のガス給湯器を電気温水器に変更	○	
・		

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	通年で目標クリアができた。毎月のクリアは難しそうなので、来期も通年でのクリアを達成したい。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで移動	○	
・ドライブレコーダーの導入	○	

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	増減はあるものの、通年目標クリアとなった。来期も通年目標クリアをめざす。
・分別の徹底	○	

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	夏休み工場の3現場施工時以外は、ほぼ目標達成できているので来期も通年目標クリアをめざす。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	○	

水道水の削減(本社)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	5月支払分が3倍～4倍の使用量となっているが、不明。以降は目標クリアしている為このまま継続したい。
・節水シールの貼り付け	○	

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・街並み景観に配慮した工事の取組	○	近隣の景観や環境に配慮するため、仮囲い万能塀などに県や市のマスコットキャラクターを使用する。
・工事施工中、施工後における大気質や水質等の環境の質の管理	○	


□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物	○
騒音規制法	空気圧縮機、送風機	○
振動規制法	空気圧縮機	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検	○
顧客要求事項	品質管理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。関係当局よりの違反等の指摘もありません。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 令和4年7月26日	■実施場所： 本社
■参加者： 濱田心平・濱田翔・中西正則・坂口由利子・柳澤伊斗子	■実施内容： 通報訓練、消火訓練、避難訓練 放水ポンプ・消火器の使用手順の確認
■評価： 出火場所によって、避難経路が変わるので何パターンかを確認した。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 本社敷地内1階食堂にて火災発生の想定、例年通り、火災対応手順書に基づき大橋防災社と共に放水ポンプ、消火器の使用手順も確認する。	

代表者による全体の評価と見直し・指示

代表取締役 濱田 心平

実施日：2023年5月31日

社内における各種削減項目の周知や設備更新等の結果、目標値に対して月単位では増減はあるものの通年で見た場合、目標を達成していることが数字として表れている。今後引き続き周知活動を徹底し、また削減案があれば積極的に取り入れることを継続し、更なる削減を進めていきたい。

グリーン購入の推進については、目標達成が厳しいため今期より、方針からははずす。また、LPGによる二酸化炭素削減については、本社給湯器の電気使用への転換等により使用量がほぼゼロのため、来期より数値目標設定をはずして施策のみとする。工事現場の増減で目標達成できない月があるため、通年での達成、もしくは削減率の改訂を再考する。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

代表取締役 濱田心平

これまでの環境活動の紹介



トイレ改修(節水型)



トイレ改修(節水型)



コピー機節電表示



LED電球へ変更(1F及び2F)



室内温度の社内啓発



エアコンの更新



現場事務所のステッカー等掲示



ガス給湯器から電気温水器へ変更